

科目番号	BA210				
科目名	森林保護学				
担当教員	山本 福壽（鳥取大学農学部 元特任教授）				
科目区分	森林生態学		人材養成の方針	即戦力	リーダー
対象学年	2年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	15		コマ		(30 単位時間)
実務経験のある教員による授業科目	—		左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—		左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容	—				

目的	森林・樹木とは何かを理解し、森林・樹木に及ぼす危害の要因と防除について学習する				
概要	森林と樹木の正確な認識をベースに、森林にダメージを与える気象的、生物的、および人為的要因を解析し、それらの影響の現れ方を解説するとともに、危害の予防や除去に関する技術的な方法論についても講述する。まず基礎的な項目として樹木の成長生理と森林の生態を講じ、これによって正確な森林・樹木の理解を促し、この知識をベースとして森林の健全性や森林保護とは何かを解説する。すなわち森林に危害を与える諸因子についての具体例を挙げ、健全な森林の育成・保全にかかわる知識と技術について講述する。				
キーワード	(1)森林の生態、(2)樹木の成長生理、(3)気象的要因による危害、(4)生物的要因による危害、(5)人為的要因による危害				
関連する科目	森林生態学、造林学、樹木学、樹木医学、森林保護学実習				
到達目標	<input type="checkbox"/>	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得			
	<input type="checkbox"/>	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得			
		多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得			
評価方法	筆記試験100%				

授業計画	テーマ	講義内容
1	生物多様性の場としての森林1	森林・樹木の進化史
2	生物多様性の場としての森林2	生態学ことはじめ
3	生物多様性の場としての森林3	世界の森林と林業
4	生物多様性の場としての森林4	日本のスギ・ヒノキ
5	樹木とは何か1	樹木の環境ストレス応答
6	樹木とは何か2	樹木の成長と水
7	樹木とは何か3	樹木の成長と重力
8	樹木とは何か4	樹木の病傷害
9	森林の保護1	森林保護学の概論
10	森林の保護2	森林の健全性と危害
11	森林の保護3	森林・樹木の病害
12	森林の保護4	森林・樹木の虫害
13	森林の保護5	森林と獣害
14	森林の保護6	外来生物(樹木)の問題
15	森林保護学試験	

テキスト	パワーポイントによる講義が主体。前もってプリントを配布する。
参考書	1.森林保護学(朝倉書店)、2.森林保護学(文永堂)
関連する資格	森林情報士2級、樹木医補

備考	
----	--